

# 連携医院のご紹介

今回は南区段原の「患者様の抱えている病状を正確に診断し、質の高い、心の通いあった医療提供」をモットーとされる啓愛クリニックの柿音高（かきおとたか）院長にお話しを伺いました。



柿 院長

## 啓愛クリニック

〒732-0811  
広島市南区段原 1-3-11  
啓愛プラザ 2F  
電話 / 082-262-8077  
院長 / 柿 音高  
診療科目 / 耳鼻咽喉科



待合室

### ○力を入れている事などを教えてください。

長引く中耳炎、いびき、無呼吸、せき、アレルギー性鼻炎（花粉症）、めまい、難聴、耳鳴、口内炎、口角炎でお困りの方も多いと思います。そのような方は、当院にご相談ください。例えば、難聴ですが、実は高齢者の認知症になるリスクファクターの一つとなっています。会話が十分にできず、脳に刺激が届かないことで、益々、認知症が進展することがあります。耳鳴りも、最初は気にされず、そのまましておられる方もいますが、どんどんとひどくなるケースが見受けられます。そういった方に対して、正確に診断し、心の通い合った医療を提供していくことに力を入れるようにしています。

急性期病院や他の医療機関、あるいは県外の医療機関の医師とのネットワークも活用しながら、質の高い医療を提供していきたいと考えています。

### ○毎日の診察で大切にされている事や、やりがいは何ですか？

患者さんのニーズをしっかりとらえることを第一に心がけています。どういったことに困っておられ、どうされたいのかをいつも大事にしたいと思っています。いろいろな場面で、ご本

人の希望を十分に確認していくとともに、こちらでも、できるだけ、わかりやすい言葉で診断、医療、予後などについて説明させていただきたいと考えています。

今まで、大変なご苦労をされている方が少しでも症状が改善され、前よりずっとよくなったと喜ばれるのを拝見すると、こちらもうれしく感じます。これからも納得のゆく信頼される医療を提供したいと考えています。



啓愛クリニック外観

### 【取材後記】

柿先生は患者さんの声やニーズを何よりも大切にされていらっしゃる事が取材を通してよくわかりました。当日も多くの患者さんがおられましたが、皆さんから非常に頼りにされていらっしゃる事が伺われました。取材中も、とても気さくに話をされ、クリニック全体もとても温かみのある場所と感じました。

2021年6月に取材しました



啓愛クリニックHP